

エイズ発症後 HIV 感染を知った症例に関する調査結果

平成25年8月28日 第1回会議

資料 17

方法：2011年1月1日第1週～2012年12月30日第52週診断分（2013年1月28日現在）のAIDS届出のあった病院より、聞き取りアンケート実施（届け出総数 82 事例、うち回答 36 事例）

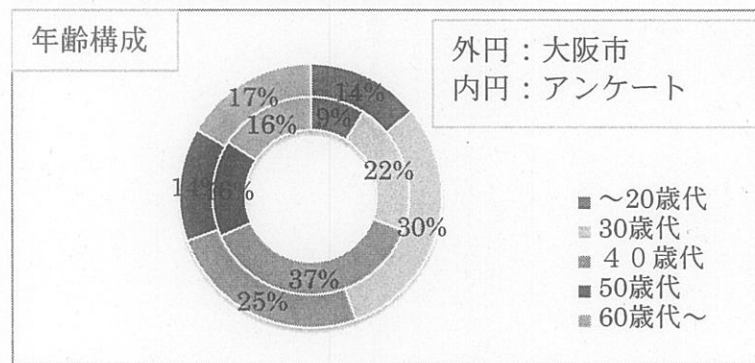
結果

	アンケート	届出報告数
ブロック拠点病院・中核拠点病院等 3 か所	22 事例	62 事例
その他の病院 11 か所	12 事例	18 事例
診療所 1 か所	1 事例	1 事例
保健福祉センター 1 か所	1 事例	1 事例

1. 属性

◎性別：36 事例すべて男性

◎年齢・居住地・医療保険の有無・就労



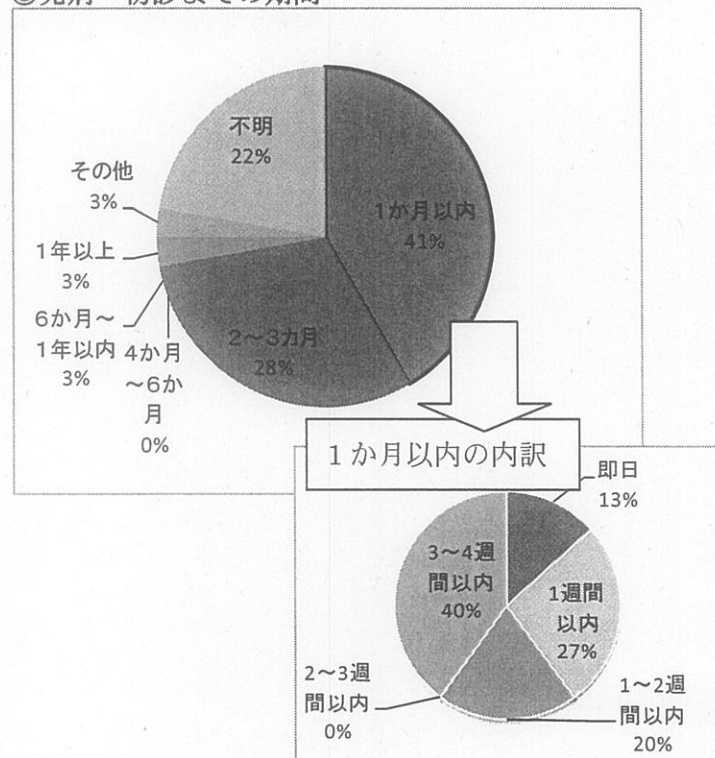
居住地	大阪市内	それ以外	不明
	61.1%	33.3%	5.6%

市内居住期間は、1年以内1名、長期が10名で、そのうち3年以内が3名である。11名が期間不明である。

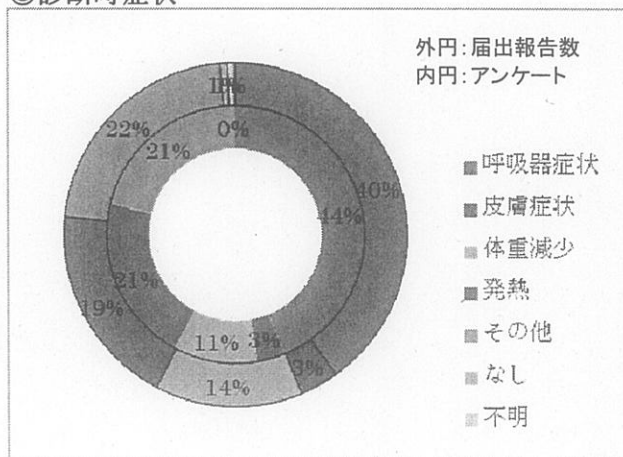
医療保険の有無	1割負担	3割負担	負担額なし	無保険	不明
割合 (%)	6%	69%	3%	8%	14%

初診時の職業	常勤	非常勤	アルバイト	無職	不明
割合	34%	11%	11%	22%	22%

◎発病～初診までの期間



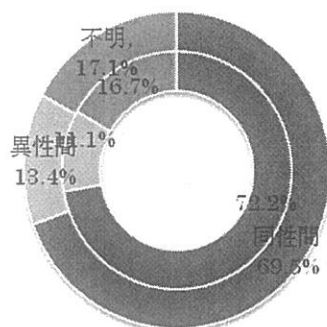
◎診断時症状



※その他：頭痛・下肢脱力・リンパ腫脹など

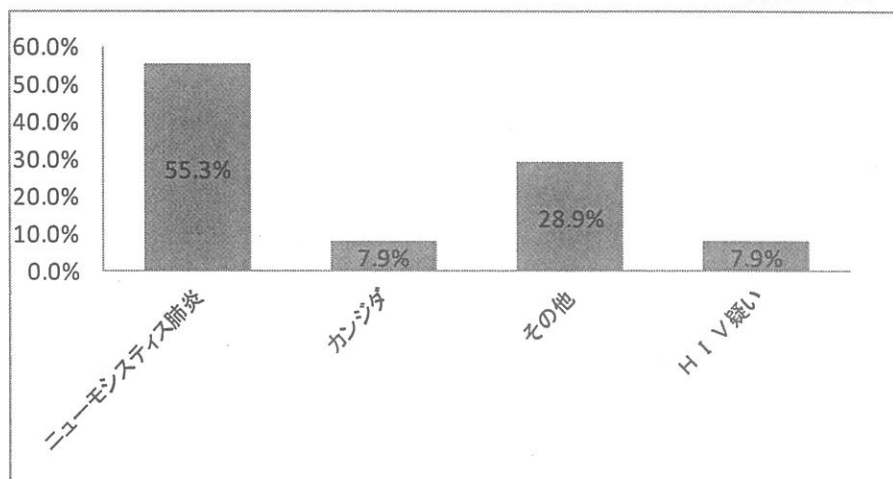
◎推定感染経路

外円：届出報告数
内円：アンケート



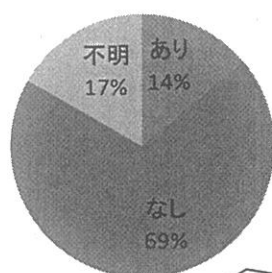
◎HIV 検査を実施した際の医師がつけた疑い病名

(複数回答)



2. 患者の認知・HIV 検査を実施した理由について

◎受検歴について



過去に受検歴がある事例（4人）のうち、直近の受検時期を確認すると、約1年前に受診したものは1人（パートナーが変わる毎に保健福祉センターで受検）、それ以外は5年以上経過している。

受検しなかった理由について
(複数回答)

まさか自分が感染しているとは思わなかった	8人
怖かった	4人
病気のことを全く知らなかった	3人
治らない病気だと思っていた	2人
面倒くさかった	2人
プライバシーが守られるか不安	2人
検査場がわからなかった	1人
その他	1人

◎性行為感染の場合のリスク想定していたか

	人数	割合
想定していた	19人	52.8%
想定していなかった	7人	19.4%
不明	10人	27.8%

◎性感染症既往有無

	人数	割合
あり	21人	58.3%
なし	10人	27.8%
不明	5人	13.9%

◎HIV/エイズに関する知識はどこで得たか (複数回答)

友人・知人・家族(パートナーを含む)	8人
ゲイ雑誌・インターネット・携帯電話のゲイサイト	7人
TV・新聞	2人
街中のポスター・チラシ	1人
医療機関の医療者	1人
知識なし	5人
不明	16人